

『心、身体、精神』 -Sense through Mind, Body, and Spirit-

SOSAC\_3 -空間- 小西真奈

SOSAC シリーズ第1回、第2回となる「SOSAC\_1 -光-」「SOSAC\_2 -時間-」では、アーティストがそれぞれのメディアと知覚で捉えた光、時間をテーマとした作品を紹介した。SOSAC シリーズ第3回目となる本展「SOSAC\_3 -空間-」では、SOSAC(外旭川サテライトクリニック)でのコミッションワークとして秋田の自然を作品化した小西真奈氏の個展を開催する。

独特な雰囲気にも包まれた小西氏の作品は、一瞬、風景写真のようであると同時に、非常に絵画的な要素を持っている。「この世のものとは思えない」ような風景と作家が表現するように、その作品にはアーティスト独自の色彩と空間構成により、リアルやバーチャルと言った枠組みには属さない、印象的な世界が存在している。SOSAC での作品制作と同様、小西氏の作品は、自身がその場所を取材し撮影した写真を基に、イメージを構成することから始まる。写真で捉えられたイメージは制作過程を通じて、新たな色彩とバランスを与えられ、独特な世界として再構成される。このように彼女が描きだした空間には、登場人物が描かれている。取材の際に実際に写真に写った観光客などを絵の中に登場させることが多いが、その存在により、彼女の作品は更に深い世界観とリアリズムに止まらない光と存在を放ち始める。それは、作品の“内側”の世界と私達鑑賞者の“外側”の世界の間の境界線を曖昧にし、私達の心、身体、そして精神を刺激しながら、現実とは異なる空間に誘うようだ。

作品空間の更に奥を眺めている人物は、何を感じ、考え、なぜそこにいるのだろうか。私達の存在する空間、彼らの存在する空間、彼らが見つめている空間を創造した時、作品は何千通りもの解釈を生み、アーティストの知覚と表現方法をメディアとして、作品自体の意味を更に深めていくことなのでしょう。本展では、訪れる方とアーティスト、そして作品が存在する空間を考える契機となる“二次元”の絵画世界を紹介します。

フォーエバー現代美術館  
チーフキュレーター 加藤 淳